



76

吉田町の人口

④

人口が増え続ける自治体

平成20年の静岡県推計人口年報（平成19年10月～平成20年9月）が今年2月に発表されました。毎年このことですが、この推計人口年報に目を通しますと、吉田町が極めて特異な自治体、言い換えれば勢いのある自治体であることが実感されます。人口が増え続けている自治体であることが珍しい昨今、生まれた人と亡くなった人の差を示す自然増減、転入した人と転出した人の差を示す社会増減、自然増減と社会増減の合計を示す人口増減、またそれぞれの自治体の年齢構成割合も部門（年少人口、生産年齢人口、老年人口）ごとに押しなべて上位を維持しています。詳しくは、左のページの表をご覧ください。

それでは、平成16年、平成18年、平成19年、および平成20年の推計人口年報（平成17年の推計人口年報「平成16年10月～平成17年9月」は国勢調査の実施年のため発表されていない）をもとに吉田町の自然増減、社

会増減、および人口増減の動態を見てみましょう。

自然増減の推移

それぞれの年報から出生者数、死亡者数、増減（出生者数から死亡者数を差し引いた数）、および増減率の順位の推移を見ると次のようになります。増減率はそれぞれの県内市町の人口数に対する割合を示していますので、吉田町の増減率は大変高いものとなります。子どもの元気な声

項目 期間	出生者数	死亡者数	増減	順位 (増減率)
H15・10～ H16・9	284	215	69	13 (0.25)
H17・10～ H18・9	302	227	75	6 (0.26)
H18・10～ H19・9	324	214	110	6 (0.38)
H19・10～ H20・9	300	223	77	6 (0.26)

があちこちで聞こえる自治体は、気が弾みます。今後とも、出生者数300人台を維持したいものです。

社会増減の推移

項目 期間	転入者数	転出者数	増減	順位 (増減率)
H15・10～ H16・9	1,599	1,339	260	2 (0.93)
H17・10～ H18・9	1,660	1,463	197	1 (0.69)
H18・10～ H19・9	1,612	1,436	176	5 (0.61)
H19・10～ H20・9	1,735	1,452	283	1 (0.97)

この表からも見て取れることですが、吉田町の勢いは転入者数が多いことにあります。今後ますます少子・高齢化の割合が高まっています。そのため、吉田町の勢いを維持させるためには若い夫婦が住み、子どもを生み・育てたいと願うまちづくりを

今後とも強力に進めてまいります。

人口増減の推移

項目 期間	出生者数 + 転入者数	死亡者数 + 転出者数	増減	順位 (増減率)
H15・10～ H16・9	1,883	1,554	329	3 (1.17)
H17・10～ H18・9	1,962	1,690	272	2 (0.95)
H18・10～ H19・9	1,936	1,650	286	5 (0.99)
H19・10～ H20・9	2,035	1,675	360	2 (1.23)

人口の増減について言えば、吉田町は自然増と社会増と両輪がうまくかみ合っていることがよくわかります。

平成19年10月～平成20年9月

自然増減

増加の大きい市町					減少の大きい市町					
順位	増加数(人)	順位	増加率(%)		順位	減少数(人)	順位	減少率(%)		
1	浜松市 991	1	1	長泉町 0.60	1	静岡市 879	4	1	西伊豆町 1.44	
2	富士市 451	2	2	裾野市 0.52	5	2	伊東市 507	1	2	川根本町 1.39
3	袋井市 353	3	3	袋井市 0.42	2	3	熱海市 459	1	3	南伊豆町 1.26
4	御殿場市 320	4	4	御殿場市 0.36	3	4	沼津市 357	9	4	松崎町 1.18
5	裾野市 279	8	5	清水町 0.35	4	5	伊豆市 280	3	5	熱海市 1.13
6	長泉町 237	6	6	吉田町 0.26	6	6	下田市 199	5	6	由比町 1.08
7	磐田市 193	5	7	湖西市 0.20	7	7	西伊豆町 144	6	7	伊豆市 0.78
8	掛川市 141	7	8	富士市 0.19	8	8	伊豆の国市 131	13	8	下田市 0.77
9	富士宮市 118	10	9	菊川市 0.17	-	9	南伊豆市 123	7	9	東伊豆町 0.72
10	清水町 111	12	10	浜松市 0.12	11	10	川根本町 121	10	10	伊東市 0.70

社会増減

増加の大きい市町					減少の大きい市町					
順位	増加数(人)	順位	増加率(%)		順位	減少数(人)	順位	減少率(%)		
1	浜松市 1,547	1	1	吉田町 0.97	5	1	沼津市 667	2	1	芝川町 1.03
2	御殿場市 826	3	2	御殿場市 0.94	3	2	裾野市 225	28	2	森町 1.02
3	袋井市 406	2	3	新居町 0.81	1	3	森町 206	11	3	東伊豆町 0.96
4	焼津市 356	14	4	袋井市 0.48	2	4	静岡市 197	1	4	由比町 0.86
5	磐田市 291	4	5	湖西市 0.35	4	5	伊豆市 196	16	5	西伊豆町 0.81
6	吉田町 283	7	6	焼津市 0.30	15	6	下田市 189	7	6	川根本町 0.76
7	富士宮市 260	-	7	伊東市 0.29	13	7	東伊豆町 143	26	7	下田市 0.73
8	伊東市 207	12	8	富士宮市 0.21	-	8	伊豆の国市 137	10	8	岡部町 0.60
9	富士市 162	-	9	浜松市 0.19	9	9	島田市 104	15	9	伊豆市 0.54
10	湖西市 158	5	10	菊川市 0.18	12	10	芝川町 98	21	10	裾野市 0.42

人口増減

増加の大きい市町					減少の大きい市町					
順位	増加数(人)	順位	増加率(%)		順位	減少数(人)	順位	減少率(%)		
1	浜松市 2,538	1	1	御殿場市 1.31	2	1	静岡市 1,076	1	1	西伊豆町 2.25
2	御殿場市 1,146	3	2	吉田町 1.23	5	2	沼津市 1,024	2	2	川根本町 2.15
3	袋井市 759	2	3	袋井市 0.89	1	3	伊豆市 476	5	3	由比町 1.94
4	富士市 613	6	4	新居町 0.74	3	4	熱海市 430	7	4	東伊豆町 1.69
5	磐田市 484	4	5	湖西市 0.56	6	5	下田市 388	6	5	森町 1.55
6	富士宮市 378	14	6	清水町 0.47	-	6	森町 312	16	6	芝川町 1.50
7	吉田町 360	9	7	長泉町 0.39	4	7	伊東市 300	4	6	下田市 1.50
8	焼津市 352	12	8	菊川市 0.34	15	8	伊豆の国市 268	11	8	南伊豆町 1.34
9	湖西市 248	8	9	浜松市 0.31	8	9	東伊豆町 250	18	9	伊豆市 1.32
10	菊川市 164	16	10	富士宮市 0.31	14	10	西伊豆町 225	12	9	松崎町 1.32

●市町別年齢構成割合（上位10市町）（単位：％）

順位	年少人口【0歳～14歳】	順位	生産年齢人口【15歳～64歳】	順位	老年人口【65歳以上】
1	清水町 16.5	1	裾野市 67.0	1	裾野市 17.9
2	長泉町 16.2	2	湖西市 66.4	2	長泉町 18.0
3	御殿場市 15.8	2	袋井市 66.4	3	袋井市 18.2
4	吉田町 15.6	4	長泉町 65.7	4	御殿場市 18.6
5	袋井市 15.4	5	御殿場市 65.6	5	湖西市 18.6
6	富士市 15.3	6	磐田市 65.3	6	清水町 19.3
7	裾野市 15.1	7	吉田町 64.8	9	吉田町 19.6
8	富士宮市 14.8	8	掛川市 64.7	8	富士市 20.3
8	湖西市 14.8	9	三島市 64.7	7	磐田市 20.6
8	御前崎市 14.8	10	富士市 64.5	10	菊川市 20.8

※年少人口・生産年齢人口は割合の高い順
老年人口は割合の低い順になっています。

(注) □内の数字は前年の順位（「-」は増から減、あるいは減から増へ変化）